

施策2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

10年後のめざす姿

働き場、学び場、遊び場、集いの場、憩いの場としての多彩な魅力を持ち、多くの人々が住み続けられ、訪れたい魅力ある都市(まち)になっています。

施策の指標と目標値

モノサシ(指標)	現 状	25 年度	30 年度
住んでいるまちが魅力的であると 感じる区民の割合 (%)	30%	40%	60%
拠点駅の年間乗降人員数(千人) (蒲田駅、大森駅、羽田空港駅)	276,711 千人 (平成 19 年度)	291,000 千人	294,000 千人

現状と課題

- 大田区は古くから多様な用途が混在した市街地を形成してきたが、近年では住宅系の開発が増加するなど、商業・業務系の土地利用への影響が懸念される
- 蒲田駅、大森駅周辺地区では、何度も訪れたい魅力のあるまち、区民が誇れるまちとして、そして国際化を視野に入れたまちづくりを進めることが必要
- 区内私鉄沿線の各駅周辺地区では、日常生活に必要な多様な機能が集積し、利便性の高いまちづくりに取り組むことが必要
- 糎谷、京急蒲田、雑色の3駅周辺では、地域住民などが中心となって検討されているまちづくりの活動を積極的に支援することが必要
- 区民、事業者が連携し、総合的・計画的な土地利用を図るため、まちづくりのルールづくりなど、地域の将来像を見据えた取り組みを進めていくことが必要



施策の方向性と主な事業

① 国際都市おおたの魅力づくり

- 行政等が連携してちづくりを進めるため、の制定やまちづくりのの支援制度を拡充の整備や維持管理、力により推進
- 区民、事業者、きめ細やかなまちづくり条例ルールづくりへ
- 道路や公園など活用を区民の協

② 個性が光るまちづくり

身近な地域の魅力づくり

- ◇私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力と活力がみなぎるまちづくり
- ◇安全で快適な歩行空間を確保し、地域活性の拠点となる整備を推進

③ みんなで作るまちづくり

まちづくり支援制度の整備

区民との協働の推進

区有施設再活用・再構築の円滑な実施

区民の日常生活を支える地区の拠点を形成・整備

区内各駅周辺地区において、商業・サービス機能が集積し、高齢化や環境にも配慮した個性とにぎわいのあるまちづくりを推進

京浜急行線連続立体交差事業における駅周辺のまちづくり

- ◇京急蒲田駅西口、糎谷駅前及び雑色駅の周辺地区において、市街地再開発事業等による整備を目標とする、関係権利者組織の活動を支援
- ◇駅前拠点の整備における公共サービスの提供について、方針や可能性などを検討

歴史と文化のまちなみづくり

人がにぎわう道づくり

都市計画マスタープランの改定

羽田空港跡地・周辺部の整備

蒲田駅周辺のまちづくり

- ◇羽田中心活力
- ◇交通機能安全
- ◇羽田空港を活用し、大田区の拠点にふさわしい魅力とあるまちづくりを推進
- ◇(仮称)大森北一丁目開発により、区有地を有効に活用し、大森のまちのにぎわいを創出する拠点として複合施設を整備

大森駅周辺のまちづくり

- ◇歴史と文化と浜風のかおる、にぎわいと交流のあふれるまち大森をめざした駅周辺のまちづくりを推進
- ◇(仮称)大森北一丁目開発により、区有地を有効に活用し、大森のまちのにぎわいを創出する拠点として複合施設を整備

施策2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

10年後のめざす姿

区民も、区外や外国からの来訪者も、内外へ円滑に移動できる都市になっています。



施策の指標と目標値

モノサシ(指標)	現 状	25 年度	30 年度
区内の交通の便に満足している区民の割合 (%)	73%	76%	80%
京浜急行線交差道路における渋滞の長さ (m)	390m	0 m	0 m

現状と課題

- 区内全域に公共交通網が整備され、交通に関する満足度は高い
- 東西方向における鉄道相互間の連続性の確保や羽田空港再拡張に伴う交通需要拡大への対応、交通不便地域の解消や高齢者などが安心して利用できる交通基盤の整備などが課題
- 鉄道立体化や都市計画道路の整備を進め、広域的な交通ネットワーク整備に取り組むことが必要

踏切の現状 (平成21年 2月)



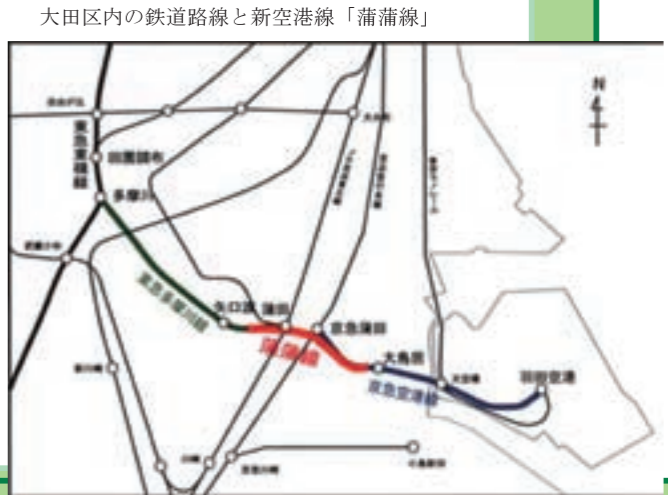
梅屋敷第4踏切 (多摩堤通り)

施策の 方向性と主な事業

① 基幹交通ネットワークの整備

- ・ 区内での周辺区市都市計画京浜急行
- 移動における利便性の向上と、観光の視点も踏まえた羽田空港からのアクセス向上のために、鉄道などの公共交通手段や道路の整備を推進
線における鉄道の立体化を着実に推進し、道路交通の円滑化を図る

京浜急行線連続 ◇交通渋滞の活性化や魅力 ◇本線と空港線 ◇高架下空間の	立体交差事業の推進 消や、鉄道による地域分断の改善により、まちのあるまちづくりを推進 が分岐する京急蒲田駅の総合的な改善を実施 利用、交差道路の整備の具体化
新空港線「蒲蒲線」 ◇区民の利便性向	の整備促進 上と国際化する羽田空港へのアクセス機能を向上
都市計画道路の ◇主要幹線道路間確保するため、	整備 の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を街路整備を推進



大田区内の鉄道路線と新空港線「蒲蒲線」

出典：大田区東西鉄道「蒲蒲線」整備計画素案

② 地域交通ネットワークの整備

- ・ 臨海部を含めた交通不便地域を解消
- ・ 高齢者や障がい者などを含め誰もが気軽に外出できる、地域交通網や交通結節点の機能を整備

コミュニティバス ◇区内バス	ティバスの導入検討、運行支援 交通不便地域を解消するため、地域が支えるコミュニティの導入検討、運行を支援
自転車 ◇自妨害	駐車場の整備 転車等駐車場を整備し、緊急車両や歩行者などの通行の妨げになっている放置自転車をなくし、安全で安心な魅力あるまちづくりを推進
京浜急行 ◇京持あ	行線連続立体交差事業関連街路の整備 京浜急行線の連続立体交差化に伴い、ゆとりある歩行者空間をつ駅前広場やアクセス道路等を整備し、京浜急行沿線の魅力あふれるまちづくりを推進



関連側道完成予想図

大森町駅付近